

インマヌエル中目黒キリスト教会 4月29日 召天者記念礼拝

召天者記念礼拝に当たり

「天国の住民とは？」

ヨハネの黙示録
21章1節～7節

梅田昇牧師

聖書朗読 新約聖書

ヨハネの黙示録 21章1節～7節

聖書本文は新改訳2017

(©新日本聖書刊行会)を使用しています

第二版の聖書は 459 ページ

第三版の聖書は 500 ページ

2017の聖書は 516 ページ

- 1 また私は、新しい天と新しい地を見た。
以前の天と以前の地は過ぎ去り、もはや海もない。
- 2 私はまた、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために飾られた花嫁のように整えられて、神のみもとから、天から降って来るのを見た。
- 3 私はまた、大きな声が御座から出て、こう言うのを聞いた。「見よ、神の幕屋が人々とともにある。神は人々とともに住み、人々は神の民となる。神ご自身が彼

らの神として、ともにおられる。

4 神は彼らの目から涙をことごとくぬぐい取ってくださる。もはや死はなく、悲しみも、叫び声も、苦しみもない。以前のものが過ぎ去ったからである。」

5 すると、御座に座っておられる方が言われた。「見よ、わたしはすべてを新しくする。」また言われた。「書き記せ。これらのことばは真実であり、信頼できる。」

6 また私に言われた。「事は成就した。わたしはアルファであり、オメガである。初めであり、終わりである。わたしは渇く者に、いのちの水の泉からただで飲ませる。

7 勝利を得る者は、これらのものを相続する。わたしは彼の神となり、彼はわたしの子となる。

説教

召天者記念礼拝に当たり

「天国の住民とは？」

ヨハネの黙示録
21章1節～7節

梅田昇牧師



< 召天者記念礼拝を迎えて >

< 黙示録について >

ヨハネが晩年パトモス島に島流しとなり、神の幻を記録

聖書の最後の書

世の終わり、終末的な預言

今朝の題は「天国の住民とは？」

・天国とは

1節「また私は、新しい天と新しい地とを見た。以前の天と、以前の地は過ぎ去り、もはや海もない」

A．天国に対する信仰

B．天国のイメージ

C．聖書の教える天国とは、黙示録21章、22章。

天国は私たちの理解を越えた驚くべき世界



・ 天国の住民とは

- A . 神の幕屋ともにある人々(3節)
- B . 涙と悲しみからの解放(4節)
- C . 死もなく病から解放された所(4節)

・天国の住民となるための資格

ピリピ人への手紙3章20節

「しかし、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主として来られるのを、私たちは待ち望んでいます。」

A．国籍取得の方法

B．天国の国籍取得の道

C．個人的な手続きの必要



終わりに（結論）

- 1．天国に凱旋された方々を偲びつつ、私たちも天国を目指して人生を辿る者であらせて頂きたい。
- 2．キリストを信じ受け入れて、天に国籍のある者とされようではないか。